

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

平成20年度より「公益法人会計基準（平成16年10月14日公益法人等の指導監督等に関する省庁連絡会議申合せ）」を準用している。

#### （1）たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品・・・総平均法による原価法を採用している。

#### （2）固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産・・・定率法による減価償却を実施している。

なお、平成28年度の税制改正により、平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備については、定額法による減価償却を実施している。

②無形固定資産・・・定額法による減価償却を実施している。

#### （3）引当金の計上基準について

①役員退職慰労引当金・・・役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

②退職給付引当金・・・期末退職給与の要支給額(408,701,890円)に相当する金額から外部拠出金額(弁理士企業年金基金109,391,539円)を控除して計上している。

③賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### （4）消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

| 科目              | 前期末残高         | 当期増加額      | 当期減少額      | 当期末残高         |
|-----------------|---------------|------------|------------|---------------|
| 特定資産 一般会計       |               |            |            |               |
| 退職給付引当預金        | 285,957,726   | 30,000,000 | 32,399,517 | 283,558,209   |
| IT関連整備積立預金      | 102,138,367   | 25,750,000 | 15,668,139 | 112,220,228   |
| 合計              | 388,096,093   | 55,750,000 | 48,067,656 | 395,778,437   |
| 特定資産 特別会計       |               |            |            |               |
| 弁理士会基金積立預金      | 508,598,891   | 81,540     | 0          | 508,680,431   |
| 会館補修基金積立預金      | 756,505,485   | 454,015    | 16,088,629 | 740,870,871   |
| 会館施設整備等準備基金積立預金 | 1,426,892,281 | 74,830,392 | 0          | 1,501,722,673 |
| 合計              | 2,691,996,657 | 75,365,947 | 16,088,629 | 2,751,273,975 |

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

| 科目              | 当期末残高         | うち指定正味財産<br>からの充当額 | うち一般正味財産<br>からの充当額 | うち負債に<br>対応する額 |
|-----------------|---------------|--------------------|--------------------|----------------|
| 特定資産 一般会計       |               |                    |                    |                |
| 退職給付引当預金        | 283,558,209   | -                  | ( 0)               | ( 283,558,209) |
| IT関連整備積立預金      | 112,220,228   | -                  | ( 112,220,228)     | ( 0)           |
| 合計              | 395,778,437   | ( 0)               | ( 112,220,228)     | ( 283,558,209) |
| 特定資産 特別会計       |               |                    |                    |                |
| 弁理士会基金積立預金      | 508,680,431   | -                  | ( 508,680,431)     | -              |
| 会館補修基金積立預金      | 740,870,871   | -                  | ( 740,870,871)     | -              |
| 会館施設整備等準備基金積立預金 | 1,501,722,673 | -                  | ( 1,501,722,673)   | -              |
| 合計              | 2,751,273,975 | ( 0)               | ( 2,751,273,975)   | ( 0)           |

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

| 科目        | 取得価額          | 減価償却累計額       | 当期末残高       |
|-----------|---------------|---------------|-------------|
| 固定資産 一般会計 |               |               |             |
| 建物        | 372,790,000   | 274,049,652   | 98,740,348  |
| 建物付属設備    | 582,822,664   | 496,852,159   | 85,970,505  |
| 什器備品      | 124,389,602   | 115,818,212   | 8,571,390   |
| ソフトウェア    | 259,312,637   | 234,782,225   | 24,530,412  |
| 合計        | 1,339,314,903 | 1,121,502,248 | 217,812,655 |
| 固定資産 特別会計 |               |               |             |
| 什器備品      | 5,302,500     | 5,302,499     | 1           |
| ソフトウェア    | 133,987,673   | 116,572,849   | 17,414,824  |
| 合計        | 139,290,173   | 121,875,348   | 17,414,825  |

5. 一般会計・正味財産増減計算書の経常外損益の主な内容は、次のとおりである。

過年度収益：仲裁センター拠出金戻入8,000,000円、会館管理料戻入748,738円等である。

過年度損：防火防災対象物点検費78,650円、委員会交通費56,460円等である。

6. 主にIT関連整備積立資産取得支出は、弁理士会全体のパソコン及びインターネット回線の整備、既存システムの改修費等として、一般会計で積立てている。

一般会計では 事務局パソコン入替及び整備費・備品購入費等8,422,393円、情報登録システム改修費66,000円、会員情報管理システム4,268,000円、弁理士ナビ改修費748,000円、

関東会・関西会相談管理システム等新サーバ構築費275,000円、

研修事業費では研修用パソコン購入費257,996円、弁理士研修システム改修費 1,630,750円として取り崩した。